

教員を目指すあなたへ（2026版）

浦和学院高校では、これからの時代を生きる生徒たちが養うべき学力およびスキルを踏まえ、学校として提供していくべきより良い教育のあり方を教員間で模索し、それを具体化するプログラムやシステムの構築を検討し、推進しています。

本校では、ICT活用型、能動的学修を促す授業展開についてはもちろん、特に2023年3月に「国際バカロレア・ワールドスクール」に認定を受けてからはより一層、各教科における探究的な学び、教科横断型の学びのあり方についても、教員間で日々研究しています。

このように、教科指導はもちろん、学級経営、部活動などの課外活動、大規模校のスケールメリットである生徒の「多様性」が、若い先生方の教育への情熱を存分に活かしていただける学校だと思っています。

以下は、本校に入職した若い先生達のコメントです。教員を目指すあなたの参考になれば幸いです。高等学校教育に情熱をお持ちの皆様の応募をお待ち致します。

教頭（教育改革担当） 星野 光代

本校に勤務し、常に新しいことに挑戦が出来る環境であると感じています。教師としてだけでなく、社会人として、他者との関わり方や言葉の伝え方などを多くのことを1年で学ぶことが出来ました。学校現場では毎日様々なことがおきますが、その都度自分の成長に繋がっていることを強く感じる事が出来ています。また、先輩方には多くのことを手助けいただき、何か相談した際には親身に話を聞いてくださいます。同期とは励まし合い切磋琢磨し合うことが出来る素晴らしい環境であると感じています。本校の特徴ともいえる多様な生徒と関わっていくにあたり、難しいと感じることも多々ありますが、多様な生徒がいるからこそ学ぶことが出来る点も多くあります。これからも一人の教員として日々精進していきたいと思えます。（社会科、女性、3年目）

私は本校に勤務し、日々新しい発見がある、充実した教員生活を送っています。本校は3つの類型と多様なコースから編成され、数多くの生徒が在籍しています。各コースに合った授業内容や展開を模索しながら、日々わかりやすい授業を目指して楽しく教壇に立っています。また、クラス担任として、生徒一人ひとりとコミュニケーションを取っていく中で様々な気づきを得ることが出来ます。このような刺激的な毎日を通して、教員としてはもちろん、人間としても成長することができたと実感しています。（数学科、男性、4年目）

教員としてだけでなく人としても、学びの多い日々を送っています。イレギュラーな仕事もありますが、本校の教員間の団結力や協力体制の強さに助けられながら業務に励んでおります。

生徒に対して真摯に向き合い、教科指導に限らず、生活指導や進路指導、部活動指導など、多くの観点から生徒それぞれに合った指導を行い、成長を促しています。本校には多くの類型、コースがありますが、各コースがその特色を生かし、様々な方面に力を入れているため、生徒の「多様性」を感じられます。また、「人とのふれあいの機会」が多いことも大規模校ならではのスケールメリットであると思えます。

多忙さを感じることもありますが、生徒の頑張る姿や笑顔を見守ることができるというのは教員ならではのやりがいであり、私自身も教員として生徒の成長の手助けができるよう日々精進していきたいと考えております。（英語、女性、4年目）